

日本保育文化学会 第7回大会 報告

第7回大会実行委員会

大会委員長 太田 光洋（長野県立大学）

大会事務局長 加藤 孝士（長野県立大学）

令和4年3月13日（日）、日本保育文化学会第7回大会が、ZOOMにてリモート開催されました。今大会は、日本学術会議協力学術研究団体に認定後、初の開催であり、今後の学会の方向性等についても情報共有を行いました。また、COVID-19の影響により、リモート開催となりましたが、様々な領域の研究発表が行われ、会員の研究交流の場ともなりました。情報交換会では、『質的研究法を用いた研究事例紹介』を行い、今後の研究に向けて、会員同士の学び合いを行いました。

【概要】

日 時：令和4年3月13日（日）
開 催 校：長野県立大学（長野県長野市三輪8-49-7）
会 場：オンライン開催：ZOOM
主 催：日本保育文化学会
実務担当：第7回大会実行委員会
 ：大会委員長 太田 光洋（長野県立大学）
 ：大会事務局長 加藤 孝士（長野県立大学）
参加者数：35名
発表数：11発表

【大会日程】

9：30 開場（ZOOM）
10：00～10：20、会長挨拶、総会
10：20～12：20、研究発表1、2
12：20～13：20、休憩
13：20～15：00、研究発表3、4
15：30～16：30、情報交換会

【大会プログラム】

◆総会・会長挨拶

◆研究発表1 座長（司会）：宮地 あゆみ（九州大谷短期大学）

（1）保育者の継続的就業を支える要因に関する文献研究から（1）

○小山 顕（関西学院聖和短期大学）、渡邊 望（長野県立大学）

（2）保育現場における新人保育者の離職に関する研究1 -保育者の離職までのプロセスを通して-

○鳴原 ひかり（福島大学大学院）

（3）保育現場における新人保育者の離職に関する研究2 -離職者の保育事例を通して-

○半沢 まどか（福島大学大学院）・鳴原 ひかり（福島大学大学院）・原野 明子（福島大学）

◆研究発表2 座長(司会):麓 洋介(愛知教育大学)

(4) ピアノ演奏時における「あがり」対策の検討-保育者養成校の学生を対象に-
○服部 安里(小田原短期大学)・安藤 恭子(小田原短期大学)

(5) 日本語を母語としない子どもへ言語的支援をする保育の在り方

○松山 寛(帝京科学大学)、谷口 征子(小田原短期大学)、鬼頭 弥生(東海学院大学短期大学部)

(6) 「金正恩時代」の教員資質向上策 -北朝鮮公式資料から迫る教育実習と現職教育の姿-

○斎藤 真(新潟こども医療専門学校)

◆研究発表3 座長(司会):小山 颯(関西学院聖和短期大学)

(7) スティグマと非認知能力や向社会的行動との関連における一考察

○宮地 あゆみ(九州大谷短期大学)

(8) 地域の子どもの育ちを支える保幼こども園と学校の連携

○田口 鉄久(鈴鹿大学)

(9) 保育実践に対する「解釈」観の相違と記録メディア:鯨岡峻の「エピソード記述」と佐伯胖の「ビデオ記録」の対比

○安部 高太朗(郡山女子大学短期大学部)・吉田 直哉(大阪府立大学)

◆研究発表4 座長(司会):渡邊 望(長野県立大学)

(10) 合同表現ゼミナールを契機とした学生の学び-演劇と音楽の双方からのアプローチによる劇創作の試みを通して-

○山本 直樹(長野県立大学)・麓 洋介(愛知教育大学)

(11) 矢野智司の遊び論における自己・世界の両義性

○吉田 直哉(大阪府立大学)

◆情報交換会:『質的研究法を用いた研究事例紹介』

話題提供者:姫田知子(四国大学)

話題提供者:加藤孝士(長野県立大学)

■日本保育文化学会 第8回大会について

第8回大会の開催については、現在検討中です。実施方法、日時、会場等は決定し次第、HP、Zoho ページ、MLにてお伝えいたします。